

家での危ない場所！

～キッチン編～

包丁や洗剤、ゴミ箱など子どもにとって危険がいっぱい！

直接火を触るだけでなく、料理中の油跳ねや湯気による火傷、包丁やハサミによる切り傷、洗剤やゴミなどの誤飲。事故を未然に防ぐため、対策してあげましょう。



グリル扉

グリルを使用すると扉も熱くなります。使用後もなかなか温度が下がりません。グリル使用後も、十分に冷めるまで子どもを近づけないようにしましょう。製品によっては高温になりにくいガラスを使った扉や、そうしたグリル扉に交換できるものもあります。

ガスコンロ

ガスコンロのつまみやスイッチは、子どもの力でも簡単に稼働してしまい、火がついたりガス漏れの危険があります。製品によってはチャイルドロックがかかる物もありますが、市販のカバーなどで触れさせないようにする事も出来ます。



鍋

使用中はもちろん、使用後もしばらくは熱く、触ると火傷します。取っ手が手前にあると手が届きやすくなるので、取っ手は奥に向けましょう。

炊飯器や電気ポット

器機から出る蒸気に触れると火傷します。コードが床などを這っている場合、引っかかったり、引っ張って器機を倒したりして危険です。器機はチャイルドロックがあり、触っても中身が出ない物、倒れても中身がこぼれないものがお勧めです。



ゴミ箱

様々な物を捨てると思いますが、衛生概念や危機管理ができない小さい子どもにとっては、危険な物です。捨ててある物を触ったり、それを口に入れ飲み込んだり、大人が考えつかないようなことをします。

見えない場所に隠したり、蓋つきの物でロックをつけるのも有効です。危険な物（電池など）は捨てる場所を変えるのも良い方法です。

- ビニール袋やラップ、紙 口に入れるとのどに張り付き窒息の恐れがあります。
- 生ゴミ 衛生的ではないのはもちろん、口に入れ詰まらせる可能性があります。また、アレルギーを起こすことも考えられます。
- 電池 のどに詰まったり、身体の中にとどまると危険です。壊れたおもちゃを置いておいたら、中に入っていた電池が出てきたということもあります。
- ペットボトルのキャップ トイレtpペーパーの芯を通る大きさは飲み込めてしまい、窒息の原因になります。

食洗器の排気

食洗器の排気口は子どもの頭や顔の高さになることが多いです。高温の排気に触れると火傷の危険があります。製品によっては温度を下げてから排気する物や、排出口が上部の物もあります。



刃物

包丁、ハサミ、スライサー、ピーラー、ミキサーなど様々な刃物がキッチンにはあります。手が届かない場所に保管したり、製品によっては包丁をしまうスペースにチャイルドロックが設置されている物もあります。



洗剤や調味料

流しの下などに置いてあると子どもの手が届きます。洗剤はもちろんですが、塩やしょうゆなどの調味料も体調を崩す可能性があり危険です。

危険がいっぱいのキッチン。収納してあっても子どもが開けると危険です。チャイルドロックを付け扉を開けられなくしたり、ベビーゲートでキッチンに入れないようにしたり、お家に合わせて考えてみて下さい。